

# 歴史を語る 遺跡・文化財



## 飯盛城跡(国史跡)と田原城跡

標高314mの飯盛山山頂一帯には永祿3(1560)年に戦国大名三好長慶が居城とした飯盛城があり、最初の「天下人」として京都と五畿内、四国の一部を統治しました。



飯盛城跡遠景(北西から)



二段構築の石垣



三好長慶イラスト

## 遺跡(出土品)

### 田原礼帽キリタン墓碑

三好長慶がキリスト教を保護したことから、田原城主が洗礼を受け「田原レイマン」と名乗りました。彼が京都で織田信長に会ったことが、宣教師フロイスの記録に記されています。平成14年、千光寺跡の発掘調査で、「天正9年 辛巳 礼帽 8月7日」と刻まれたキリタン墓碑が出土しました。墓碑にある洗礼名『礼帽』と、フロイスの記録にある人物とが一致する非常に貴重なものです。



### 田原城跡

上田原にある田原対馬守を城主とする田原城は、飯盛城の東方を守る支城として機能しました。

### 子馬形埴輪

昭和63年出土



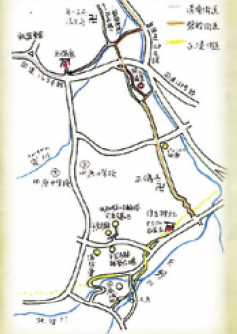
### 馬形埴輪

昭和61年出土



忍ヶ丘駅前整理事業に伴う発掘調査で出土した古墳時代中頃の埴輪です。馬形埴輪は当時の馬の姿を忠実に表現し、子馬形埴輪はオスの姿を表現した大変貴重な人気が高いものです。

## 昔をしのぶ 街道



飯盛城跡パンフレット



四條畷 飯盛 登山マップ



四條畷市 歴民



### 千光寺跡

田原城主田原氏の菩提寺である千光寺は、平成6年の発掘調査でその所在地が判明しました。重要な遺構は、田原台4丁目で「千光寺跡跡築広場」として公開されています。完全な形で出土した青磁袴腰香炉(府指定文化財)は、中国龍泉窯製のものでした。

磐船街道  
天野川に沿って交野から田原へと続く道。江戸時代に貝原益軒が著した「南遊紀行」によると、彼は磐船社を経て田原に入り、清滝街道を進みました。

古堤街道  
天満橋から龍間(大東市)を経て上田原に入り、奈良へと続く道。田原城跡北側の北谷川沿いから住吉神社境内を通っています。境内には、石風呂(府指定文化財)や十三仏(元和8(1622)年)などがあります。

清滝街道  
市内を東西に通じる街道で、部屋から逢阪・下田原を通り、奈良の飛鳥や平城京につながる重要な道。東中野で東高野街道下田原で磐船街道と交差しています。

河内街道  
枚方から高宮(寝屋川市)を南下し、砂岡山地区の境界を通って八尾へと続く道。沿道には四條畷高等学校があります。

東高野街道  
京都の東寺から空海(弘法大師)がひらいた高野山へと続く道。市内では、讃良川の新橋から忍ヶ丘駅前を通り、蜻蛉池公園・市民総合センター前から歴史民俗資料館前を通ります。